

マイクロマシン／MEMS 分野関連 経済報告 2022年9月号

2022年9月1日
(一財) マイクロマシンセンター
<https://www.mmc.or.jp/>

マイクロマシン／MEMS 分野を取り巻く経済・政策動向のトピックをいろいろな観点からとらえて発信しています。今月の経済報告をお届けします。

掲載内容

1. 全般動向 (内閣府発表 景気動向指数より)
2. 各経済指標
 - ・内閣府公表 月例経済報告 より
 - ・内閣府公表 設備投資 (機械受注統計調査報告) より
 - ・経済産業省公表 鉱工業指数調査より
3. その他の動向

1. 全般動向

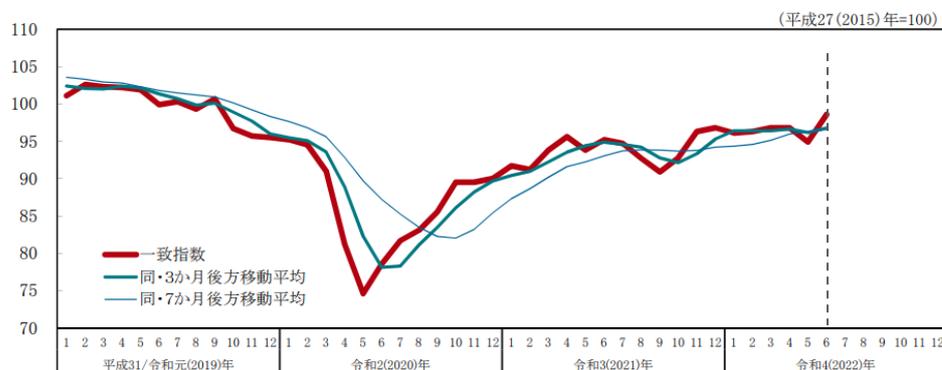
■ 景気動向指数 (改訂値) 結果 (内閣府、経済社会総合研究所 発表より抜粋) 令和4(2022)年6月分速報からの改訂状況 (令和4(2022)年8月29日発表) より

▶ <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/202206rsummary.pdf>

- ① 6月分CI (平成27(2015)年=100) (改訂値)は、
先行指数：100.9、一致指数：98.6、遅行指数：97.6
- ② 一致指数の基調判断
景気動向指数 (CI一致指数) は、改善を示している。

	6月分CI (平成27(2015)年=100)	
	速報	改訂
先行指数	100.6	100.9
一致指数	99.0	98.6
遅行指数	97.4	97.6

一致指数の推移



▶ 内閣府「景気動向指数」関連 TOP ページ：

<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/di.html>

▶ 参考 - 景気動向指数「令和4(2022)年6月分(速報) (8月5日公表)」pdf：

(概要) <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/202206psummary.pdf>

(速報資料) <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/202206report.pdf>

2. 各経済指標

■ 月例経済報告（8月）（内閣府、令和4年8月25日 公表）

（「月例経済報告等に関する関係閣僚会議資料」より抜粋）

▶ <https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/2022/08kaigi.pdf>

<日本経済の基調判断>

（現状）【判断維持】

- ・ 景気は、緩やかに持ち直している。

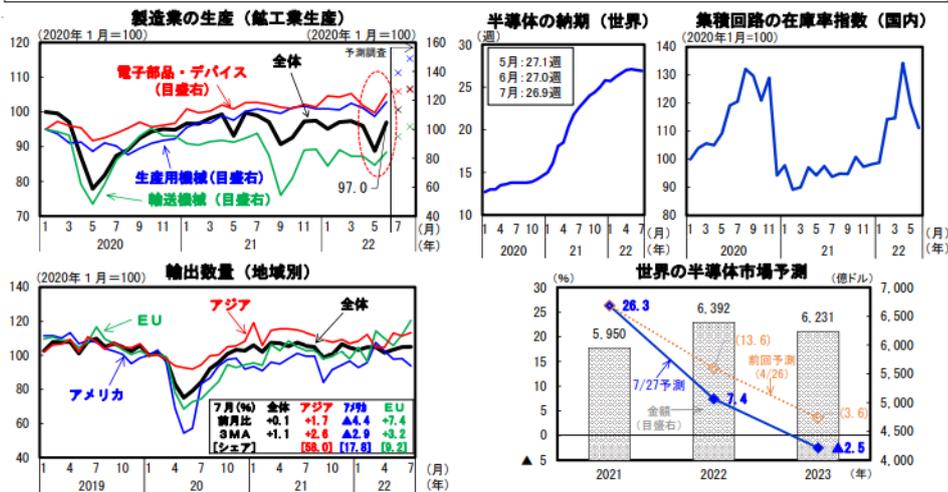
（先行き）

- ・ 先行きについては、感染対策に万全を期し、経済社会活動の正常化が進む中で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。

ただし、世界的な金融引締め等を背景とした海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇による家計や企業への影響や供給面での制約等に十分注意する必要がある。

今月の指標(2) 生産・輸出

- ▶ 生産は、中国のロックダウンの影響によって生じていた減産が概ね解消されるなど、持ち直しの動き。
- ▶ 輸出は概ね横ばい。アジアや欧州向けは持ち直しの動きがみられる一方、アメリカ向けは概ね横ばい。海外景気の動向に注意が必要。
- ▶ 世界的な半導体不足の状況は当面続くと考えられるものの、世界的な物価上昇の下でスマホ・PC需要に鈍化の動きもあり、足下では国内の在庫率も高まっている。こうした中、世界の半導体市場の成長見通しを下方改定する見方も。



- ▶ 内閣府「月例経済報告（令和4年8月）」（pdf）：
<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/2022/0825getsurei/main.pdf>
- ▶ 内閣府「月例経済報告等に関する関係閣僚会議」TOP ページ：
<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/kaigi.html>
- ▶ 内閣府「月例経済報告」TOP ページ：
<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/getsurei-index.html>

■ 設備投資 令和4年6月実績：機械受注統計調査報告
 (令和4年8月17日 内閣府 経済社会総合研究所 公表より抜粋)

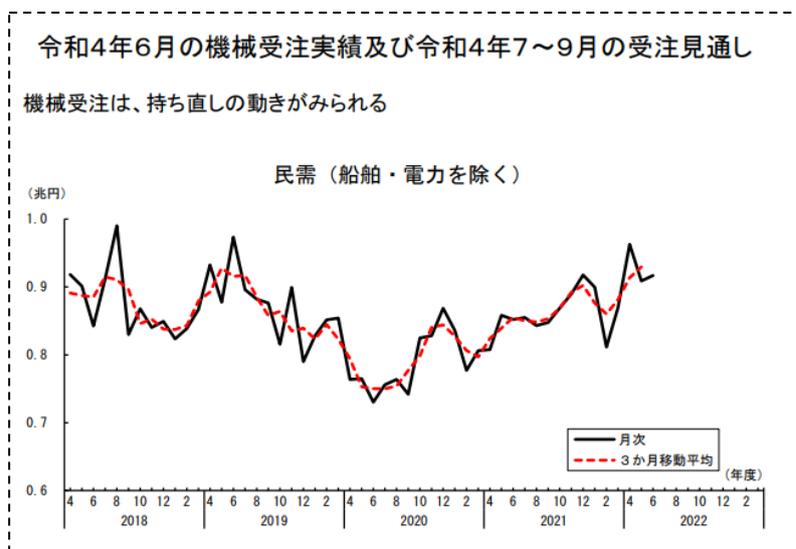
▶ <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/2022/2206juchu.html>

調査結果の概要（季節調整値）：

1. 機械受注総額の動向をみると、
2022（令和4）年5月前月比10.1%減の後、6月は同2.2%減の2兆9,597億円となった。
2. 需要者別にみると、
民需は前月比2.2%増の1兆676億円、官公需は同0.3%増の2,684億円、
外需は同4.6%減の1兆5,410億円、代理店は同5.1%減の1,199億円となった。
3. 民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」の動向をみると、
2022（令和4）年5月前月比5.6%減の後、6月は同0.9%増の9,170億円となった。
このうち、製造業は同5.4%増の4,765億円、非製造業（除く船舶・電力）は
同0.0%減の4,498億円となった。

（以下図表は「令和4年6月の機械受注実績 概要（PDF版）」より抜粋）

▶ <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/2022/2206gaiyou.pdf>



期・月	対前月（期）比						(単位:%)			
	2021年 (令和3年)	10-12月	2022年 (令和4年)	1-3月	4-6月	7-9月	2022年 (令和4年)	3月	4月	5月
需要者	実績	実績	実績	実績	実績	見通し	実績	実績	実績	実績
受注総額	1.5	9.0	△9.7	21.0	△3.0		2.5	33.6	△10.1	△2.2
民需	△0.9	14.1	△13.9	14.3	△4.5		△0.4	23.8	△9.0	2.2
〃（船舶・電力を除く）	1.1	5.1	△3.6	8.1	△1.8		7.1	10.8	△5.6	0.9
製造業	7.2	3.1	0.8	9.1	△4.5		7.1	10.3	△9.8	5.4
非製造業（除く・電）	△3.6	6.8	△8.1	7.6	△1.5		11.0	8.9	△4.1	△0.0
官公需	5.9	3.6	△2.8	7.0	△15.5		61.9	△6.6	△20.1	0.3
外需	4.1	1.7	△6.6	31.4	△0.8		△14.2	52.1	△2.4	△4.6
代理店	2.0	1.4	△11.3	11.7	15.5		22.9	3.7	4.1	△5.1
民需（船舶電力を除く） 3か月移動平均	-	-	-	-	-		2.5	3.7	1.7	-

(備考) 1. 季節調整値による。季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
 2. △印は減少を示す。
 3. 見通しは2022年6月末時点の調査。

▶ 内閣府「経済社会総合研究所 統計表一覧：機械受注統計調査報告関連」TOP ページ：
<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html>

■ 鉱工業指数(生産・出荷・在庫、生産能力・稼働率、生産予測指数)

～製造業の動きから見る日本の景気～（経済産業省 2022年8月31日発表）

【2022年7月分】鉱工業指数の動向（速報）より抜粋

- ▶ https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/pdf/press/b2015_202207sj.pdf
- ▶ https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/book/b2015_202207sj.html

－ 生産は一進一退 －

- ・ 今月は生産、出荷、在庫率は上昇、在庫は横ばいであった。
- ・ 製造工業生産予測調査によると、8月、9月ともに上昇を予測している。
- ・ 総じてみれば、生産は一進一退で推移している。

・生産は、前月比1.0%の上昇。

上昇業種：自動車工業、汎用・業務用機械工業、生産用機械工業等

低下業種：電子部品・デバイス工業、化学工業（除、無機・有機化学工業・医薬品）、鉄鋼・非鉄金属工業等

・出荷は、前月比1.6%の上昇。

上昇業種：自動車工業、汎用・業務用機械工業、生産用機械工業等

低下業種：電子部品・デバイス工業、鉄鋼・非鉄金属工業、石油・石炭製品工業等

・在庫は、前月比0.0%の横ばい。

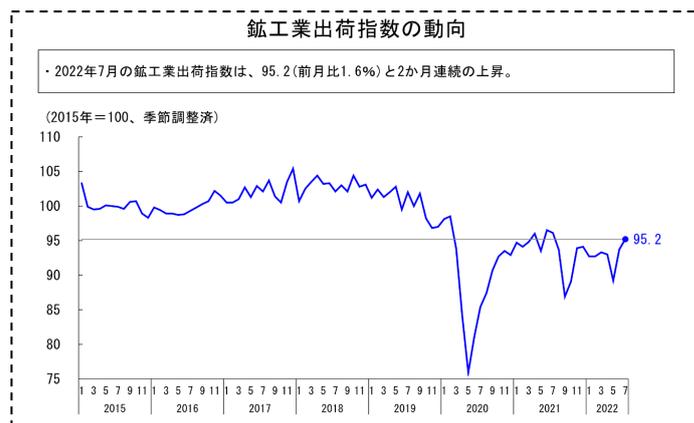
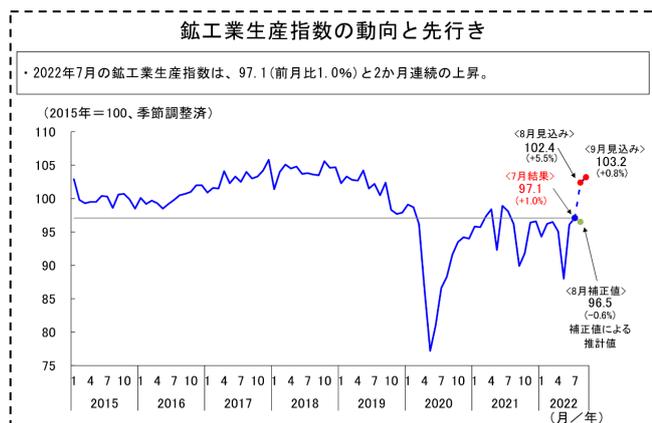
上昇業種：生産用機械工業、無機・有機化学工業、石油・石炭製品工業等

低下業種：自動車工業、電子部品・デバイス工業、化学工業（除、無機・有機化学工業・医薬品）等

7月の「最新指数の解説」より抜粋

- ▶ https://www.meti.go.jp/statistics/toppage/report/archive/kako/20220831_1.html

（解説） 7月の鉱工業生産は、電子部品・デバイス工業等が低下したものの、部材供給不足の影響が緩和したことなどをを受けて、自動車工業等が上昇したことから、全体として前月比1.0%と、2か月連続の上昇。基調判断は、「生産は一進一退」に据え置き。



詳細は以下の経済産業省 ホームページをご参照下さい。

鉱工業指数（最新の）「結果の概要」：

- ▶ <https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

3. その他の動向

■ 電子部品グローバル出荷統計

(一社) 電子情報技術産業協会 (JEITA)、2022年8月31日発表より抜粋)

【2022年6月動向概況】

- ・ 2022年6月のグローバル出荷額は
3,791億円、前年比108.3%となり、前年比プラスとなった。
- ・ 品目別出荷は
受動部品 (前年比111.1% 1,911億円)、接続部品 (同114.6% 945億円)、
変換部品 (同110.6% 501億円)、その他の電子部品 (同86.3% 432億円) となった。
- ・ 地域別出荷は
日本 (前年比97.7% 748億円)、米州 (同126.3% 441億円)、
欧州 (同110.5% 378億円)、中国 (同107.1% 1,442億円)、
アジア・その他 (同111.5% 776億円) となった。

【月別出荷金額】

1. 月別出荷金額 (2022.08.31 発表: 毎月更新)

電子部品出荷額 (億円)	2022年度						2022年度累計		
	4月		5月		6月		4月-6月		
	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	
世界計	3,452	98	3,430	107	3,791	108	10,674	104	
(日本)	718	98	645	99	748	97	2,112	98	
品 目 別	受動部品	1,714	101	1,735	108	1,911	111	5,360	107
	コンデンサ	1,213	100	1,247	109	1,373	113	3,833	107
	抵抗器	161	107	157	110	180	112	500	110
	トランス	40	113	39	115	45	124	126	117
	インダクタ	254	97	247	103	269	98	771	99
	その他	43	120	43	107	42	103	129	109
	接続部品	797	97	836	112	945	114	2,579	108
	スイッチ	302	90	302	106	348	108	953	101
	コネクタ	492	102	530	115	594	118	1,617	112
	その他	2	93	3	116	3	105	9	104
	変換部品	516	108	481	115	501	110	1,498	111
	音響部品	22	81	21	79	22	75	66	78
	センサ	204	92	199	100	205	90	608	94
	アクチュエータ	289	128	260	134	273	139	823	133
	その他の電子部品	424	82	378	89	432	86	1,235	85
電源部品	170	90	177	99	213	111	562	100	
高周波部品	253	77	200	82	219	70	673	76	

【地域別出荷金額】

2. 地域別出荷金額
«2022年度»

地域別出荷金額 (億円)	2022年度						2022年度累計	
	4月		5月		6月		4月-6月	
	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)
グローバル	3,452	98	3,430	107	3,791	108	10,674	104
日本	718	98	645	99	748	97	2,112	98
米州	402	122	406	128	441	126	1,250	125
欧州	338	101	374	116	378	110	1,090	109
中国	1,141	83	1,215	98	1,442	107	3,799	96
アジア他	850	115	789	118	776	111	2,416	115

詳細は以下の JEITA (電子情報技術産業協会) ホームページをご参照下さい。

▶ https://home.jeita.or.jp/ecb/information/info_stati.html

以 上